

市町村合併の是非は

住民投票で



議員 佐谷時繁

合併による町長の見解は、

自治省が各自治体に出している指針通達等によると、早くかつ積極的に市町村合併を押し進めようとしています。その理由として、

少子高齢化に対応するため介護保険・環境・ゴミ問題などの広域行政の推進
国・地方あわせて六百四十五兆円の借金体質の改善のための行政改革の必要性など、早急な解決が求められているからです。

合併を行った場合のメリットは、
行政組織の効率及び合理化
財政基盤の安定
広域行政が円滑に行われる
市町村間のサービスの格差の是正
地域の活性化（イメージ）

逆にデメリットとしては地域の歴史・文化への愛着の薄れ
連帯感の薄れ
住民参加が出来なくなる
細かな行政サービスが受けられないなどありますが、大事なことは住民サイドに立つて安心して住める町を自分たちの手で、そして自分たちの責任で築き上げることが必要であると思っています。

合併是非についての選択肢（住民投票）がありますが、要は可能な限り住民に知らしめることが大事だと考えます。最後に合併の中で御嵩町に計画されている産廃問題が、どのような位置づけなのか伺います。

示され、大きなテーマになると思いますが、行政が前に出ると失敗する可能性があります。大事なことは住民の意思が最優先であり、時間をかけてメリット、デメリットを議論しなければなりません。そのため行政としては十分な情報を提供し、住民投票で決めることが一番しつくりいくと思います。産廃との関係は、特に心配ないと考えます。

「マイ・バック運動」の積極的な展開を望む
今、なぜ買利物袋なのか。それは「地球が危ない」との思いであります。大量の化石燃料を使い、大量生産、大量消費、大量廃棄といった現在のライフスタイルを続けている限り解決しません。省エネ・省資源ということを念頭に置いた生活をしなければなりません。

豊田市では、エコライフということで「買利物袋持参運動推進協議会づくり」を積極的に取り組んでいます。私の調べでは、バロー御嵩店でレジ袋に年間三百八十万円を費やしています。レジ袋は燃焼するとダイオキシンの発生します。私たちは何の抵抗もなく今の生活をしていますが、行政と町民が力を合わせ本気でこの問題をクリアしなければならぬのです。

かねてから買利物袋持参運動については、廃棄物減量等推進審議会より一層の拡大に努めるよう答申をいただいております。現在、役場ではISO14001の認証取得に取り組みしており、地球環境に配慮する



買利物袋

一年前の一般質問で自治会との「共働」・「地域で子育て」等々を踏まえて自治会の役員任期を年度に変えたら、との質問をいたしました。行政に關係する多くの団体は年度になつてゐる現状である。自治会の役割を考えた時、是非年度に変えるべきだと思ひますが、考えを伺ひます。

平成十六年から実施する方向で
十二月八日の自治会長会において、この問題について協議をしていただいた結果、平成十六年から年度の役員任期にしていくことと承知されました。これを踏まえ、特に来年の役員の方、再来年の役員の方に理解をいただくようにしたいと、今から十分なPR等を行つていきたいと考えています。

一年前の一般質問で自治会との「共働」・「地域で子育て」等々を踏まえて自治会の役員任期を年度に変えたら、との質問をいたしました。行政に關係する多くの団体は年度になつてゐる現状である。自治会の役割を考えた時、是非年度に変えるべきだと思ひますが、考えを伺ひます。

「野村参事」